

ちょっとひと工夫

— 家庭学習改善のための情報 —

家庭学習通信 No.17
平成 28 年 6 月発行
長野県教育委員会
学力向上推進チーム
G チーム

自ら進んで行う家庭学習をめざして②

G チーム研究班 高橋 廣貴（総合教育センター専門主事）

飯田市立緑ヶ丘中学校では、昨年度から教職員の中で、やらされる宿題から自ら進んで行う家庭学習への改善の思いが高まってきました。そこで本年度のスタートをチャンスと捉え、研究主任が中心となり家庭学習の改善に取り組み始めました。（No. 16 の続きです。）

(3) 家庭への情報発信

家庭学習についての取組を知り、関心をもってもらうために、各家庭にも「家庭学習についてのお知らせ」を配付しました。学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実を進めていこうとしています。

(4) 定期的な振り返りの場の構想

1 学期後半に家庭学習の取組を振り返る全校集会の構想があります。生徒は自分の取組を振り返り、今後に向けてより充実した家庭学習にしていくためにはどうしたらよいかを考え、教師は家庭学習に対する生徒の思いをくみ取る場にしようと考えています。

(5) 小中連携した家庭学習の検討

中学校区で行われていた小中連携会議の中でも、家庭学習のことが話題になりました。今年度は義務教育 9 年間を見通した家庭学習のあり方について、小中連携会議で検討が始まりました。

家庭学習ガイダンスを伝えて

4月10日には、全校で家庭学習ガイダンスが行われました。緑ヶ丘中学校における家庭学習とは何か、なぜ、家庭学習を行う必要があるのか、がはっきりしたと思います。各教科の先生方からは、家庭学習の内容や時間、学習の仕方などのお話を聞きました。

目標 ステップ① 毎日決められた家庭学習をやり、習慣を身につけよう。
ステップ② 工夫しながら学習を進め、自分なりのやり方を確立しよう。

最終的目標は、まず続けること、それができるようにになったら、やら内部ややり方を工夫することです。「やらされてやる家庭学習」から「自ら取り組む家庭学習」を目指してがんばりましょう。

	どんな学習をどのくらい?	Aプラン	Bプラン	Cプラン
国語	読書力、前能力を伸ばす学習 毎日20~30分	漢字練習 白文帳に1ページ	読書コラム、教科書の 本文、資料や社会の教 科書本文を学ぶ	各自が得意な問題 集など書く。
数学	数学の力を伸ばす家庭学習ノート 家庭学習記録カードの活用 毎日最低30分	授業で行った問題を もう一度ノートに写し て問題を解く。	問題集「リポート」のA 問題を 解く(教科書参照)	問題集のB問題を中心 に問題集も活用する。
英語	単語の英文の中で覚えるように 毎日最低30分 →つづいて4コマ、音読、発音をセッ トにして練習しましょう。 →聴き取り1フレーズ、ノートがっしり 練習で始めましょう。	授業で学習した単語や 基本文を日本語の意味 と発音をセットで練習。 声に出しながら1行に つづいて練習を続ける。	「めあめき English」 の音読を録音。ノート に練習を続ける。 「読む力を伸ばそう」 問題集のA問題をリス トに写し、覚えるま で練習する。	A/Bプランに加え、基 本文の注目を覚めたり、 発音を覚えたりする自 作の英文を覚える書く。 ①基本文、②発音、 ③その覚え、④音読文 本行でまとめる。
社会	歴史の分野をより理解するために →毎週 月曜日にノートを描く	ワークブックの読解練習を録音 →基本文(教科書参照)	Aプランに加え、 もう一度単元で学習したことを 自分でまとめる。	
理科	授業の内容をより理解するために →週に1日~2日 観望を指定	毎月1日ノートに書き、観望した問 題を書く。	Aプランに加えまとめる際したり、 さらに難しい問題(理科問題の ワーク)を解いたりする。	
その他				

※1日未満のより「生活記録」を書きます。
※各教科から、定期テストに向けて練習プリントなどの印刷用紙出ることがあります。

◇緑ヶ丘中学校の取組のよさから学びたいこと

- ・全校生徒と全職員が同じスタートラインに立って、家庭学習の充実に取り組んでいる。
- ・各教科同じやり方で行っているため、教科担任による差が少ない。
- ・振り返りを次に生かし、よりよい家庭学習のあり方を生徒とともにつくっていくようとしている。
- ・小中連携して義務教育 9 年間を見通した家庭学習のあり方を考えようとしている。

先生方のチームワークによって、緑ヶ丘中学校の第一歩がスタートしました。各学校でも授業改善や家庭学習の見直しが行われていると思います。最初の第一歩が次の第一歩に、そして学校としての長い歩みにつながってほしいと思います。